

# 最新取材映像を中心に見る イラク、シリア国内は今



「イスラム国」に奴隷として拉致され、強制結婚させられたヤズディ教徒の20歳。イラクからドイツへ逃れメンタルケアを受けるが、今もトラウマに苦しむ。  
(ドイツで今年4月・玉本英子さん撮影)

昨年夏、シリア難民の子どもたちの遺体がトルコの海岸に打ち上げられた写真が世界中に伝えられました。シリア・コバニ出身の3歳のアイランくんは、家族とともにボートで欧州に逃れるはずでした。

彼らが暮らしてきたシリア、そしてイラク。「イスラム国」のニュースが流れても、その支配地域とその周辺で何が起きているか、人々の暮らしなど、なかなか伝わってきません。

現地の人々に何がおきているのか、なぜ人々は国外を目指すのか、そして国外へ出た人たちの思いは。

この地域を15年以上取材されている  
玉本さんから報告です。



玉本 英子(たまもとえいこ)

東京生まれ、大阪在住のアジアプレス記者。94年から中東地域を中心に取材、テレビのニュースレポート、新聞、雑誌、ネットや報告会などで現地の状況を伝える。現在は「イスラム国」支配地域の周辺などを中心に取材を進めている。

**7月23日(土)10:00-12:00**

**会場:東播磨生活創造センター かもむ**

加古川市加古川町寺家町天神木97-1・加古川駅南口から徒歩5分

**参加費:無料**

主催・問合せ・・・兵庫県ユニセフ協会 電話 078-435-1605

共催:日本国連協会兵庫県本部